

医療機関の皆さまへ

健康福祉局健康安全課長

横浜市におけるノロウイルスの発生状況について（情報提供）

平素より横浜市の感染対策にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、例年、横浜市ではノロウイルスを中心とした感染性胃腸炎の報告が 11 月頃から増加する傾向にあります。これまで流行の主流となるノロウイルスはノロウイルス GⅡ. 4 型でしたが、2014—2015 シーズンの 1～3 月はノロウイルス GⅡ. 17 が GⅡ. 4 より多く検出されました。今回検出された GⅡ. 17 は、これまでと異なる抗原性を示す **GⅡ. 17 の変異型**であることが確認されており、2014—2015 シーズンに日本国内で増加しています。

横浜市においてはこれまで、**変異型のウイルスによるノロウイルス感染症が流行すると、例年に比し大規模な流行を来す傾向があります**。また、各医療機関で使われているノロウイルスの簡易検査キットは今回の GⅡ. 17 に対しては、GⅡ. 4 に比し検出感度が十分でないという報告^{1),2)}があります。

各医療機関におかれましては、引き続き感染対策にご留意いただきますよう貴会会員の皆さまへご周知をお願いいたします。

1) IASR Vol. 36 p. 91-92: 2015 年 5 月号

2) Khamrin P, et al., Euro Surveill, 20(28):pii=21185, 2015

別添 1 横浜市におけるノロウイルス感染症の発生状況

別添 2 感染症パンフレット「ノロウイルスによる感染性胃腸炎にご注意ください！」（横浜市衛生研究所）<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/punf/pdf/noro-yobou.pdf>

<参考>

- 1 ノロウイルスの Q&A（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus/>
- 2 感染性胃腸炎について（横浜市保健所）
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/virus.html>
- 3 ノロウイルスによる感染性胃腸炎について（横浜市衛生研究所）
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/srsv1.html>
- 4 嘔吐物処理方法の映像（横浜市保土ヶ谷区作成 YouTube の動画）
YouTube トップページより

実践で学ぶ嘔吐物処理

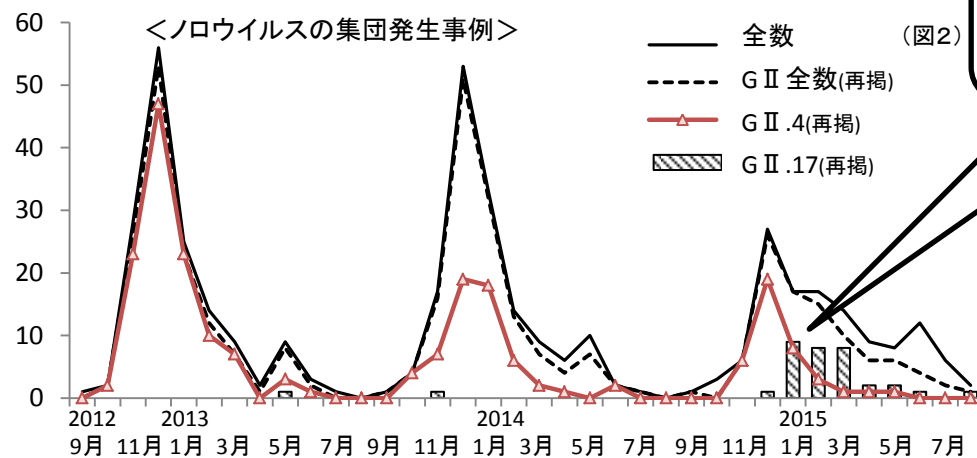
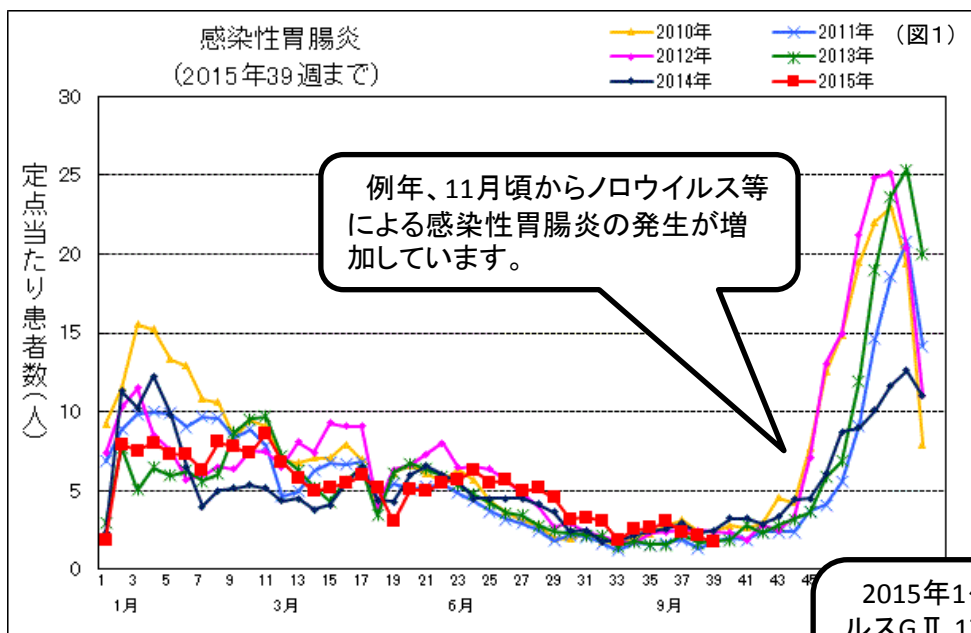
検索



横浜市におけるノロウイルス感染症の発生状況

(別添1)

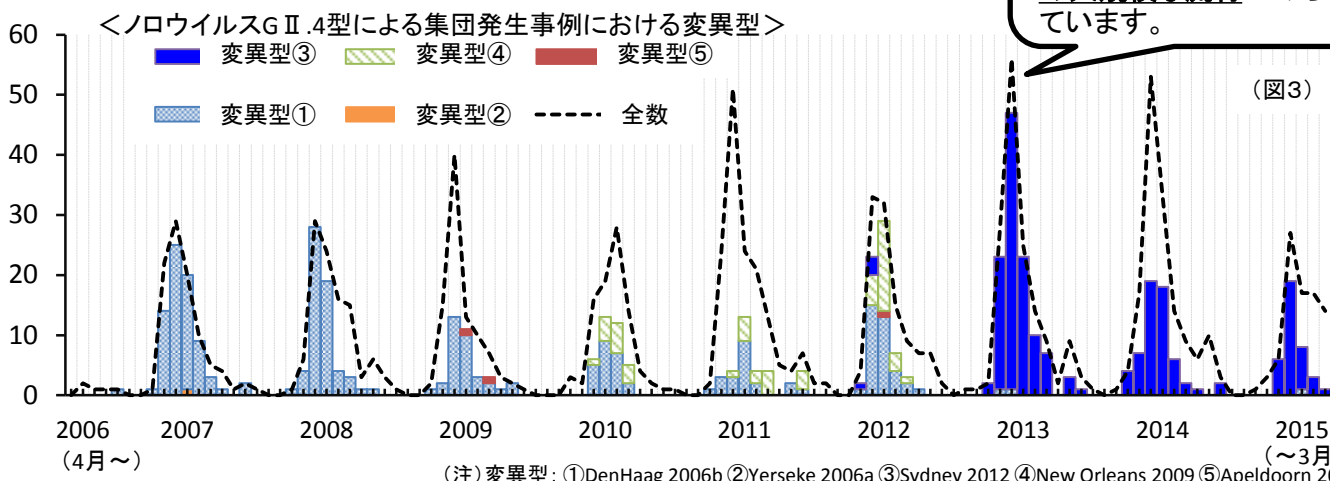
平成27年10月8日
横浜市保健所



2015年1~3月はノロウイルスG II .17型が増加しました。このウイルスは、これまでのG II .17の変異型^注と確認されています。

注)従来のG II .17の変異型である遺伝子型 G II.P17-G II.17のウイルスで、2014-2015シーズン以降、日本国内で増加がみられています。この変異型は、既存の簡易検査キットではG II .4に比し十分な感度が得られないとする報告^{1), 2)}があります。

これまでの傾向では、**変異型のウイルスが流行した年は、ノロウイルス感染症の大規模な流行がみられています。**



出典) 図1: 横浜市衛生研究所 横浜市感染症情報センター。横浜市感染症発生動向調査における定点医療機関からの報告数。
図2・3: 横浜市衛生研究所微生物検査研究課ウイルス担当提供資料。横浜市保健所が探知し、検体収集が可能であった集団発生事例に限る。

1) IASR Vol. 36 p. 91-92: 2015年5月号 2) Khamrin P, et al., Euro Surveill, 20(28):pii=21185, 2015

ノロウイルスによる

感染性胃腸炎にご注意ください！

【 感染予防のポイント 】

- 調理の前や食事の前、トイレの後、汚物処理の後などには、**石けんと流水で30秒以上**手を洗いましょう。

【手洗いのポイント】

爪を短く切る。指輪や時計などを外す。

石けんを十分泡立て、爪ブラシなどを使用して手指を洗淨する。

すすぎは温水による流水で十分に行う。

清潔なタオル又はペーパータオルで拭く。



- ウイルスに汚染されている可能性のある食品や加熱が必要な食品は**中心部が85℃～90℃で90秒以上**の加熱が必要です。

- ノロウイルスの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤など）を使用しましょう。（エタノールや逆性石けんはあまり効果がありません。）



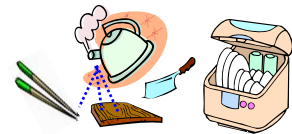
調理器具は洗剤で十分に洗淨し、0.02%次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭きましょう。

糞便や嘔吐物を片付けるときには、処理に使用したペーパータオル等は0.1%、処理後の床は0.02%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

		希釈濃度（使用時の濃度）	
		0.02%	0.1%
製品の 塩素濃度	1%	50倍 水1ℓ + 原液20ml	10倍 水1ℓ + 原液110ml
	6%	300倍 水1ℓ + 原液3.3ml	60倍 水1ℓ + 原液17ml
	12%	600倍 水1ℓ + 原液1.7ml	120倍 水1ℓ + 原液8.4ml

めやす・・・市販の塩素系消毒薬は5～6%が多い。ペットボトルのキャップ1杯は約5ml。

- まな板や包丁、食器、ふきん等は、**熱湯（85℃以上）で1分**の加熱が有効です。
- 下痢や嘔吐等の症状がある場合は、食品を直接取り扱わないようにしましょう。
- 汚物や吐物の処理をする時は、使い捨て手袋等を着用し、処理後は手を洗いましょう。
- また、ノロウイルスに感染した場合、回復してから1週間、長いと1か月程度はウイルスの排出が続くことがあるため、手洗い等の感染防止策が必要です。



【 参考リンク 】

- ・ ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html
- ・ ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所感染症情報センター）
<http://idsc.nih.gov/jp/disease/norovirus/taio-a.html>
- ・ 社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル（東京都）(PDF)
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/noro/manual.html>